

地域の“熱い”意気込み

～「克雪調査」代表者が抱負を語る～

克雪体制支援
調査（瓦版）

雪かき

第3号

＜発行日＞
2014年11月12日

＜発行者＞
(株)日本能率協会総合研究所

＜監修＞
国土交通省
国土政策局
地方振興課



国土交通省が進める、「平成26年度 雪処理の担い手の確保・育成のための克雪体制支援調査業務（以下「克雪調査」という）」に取り組む全国11地域の代表者が今年の取組の抱負を語ってくれました。

＜山形県鶴岡市＞

●地域除雪ボランティアチーム「さんぜスノースーパー」の運営 (鶴岡市三瀬地区自治会)

自治体の除雪がなかなかゆき届かない「かゆい」箇所を、地域力の総動員でカバーします！老若男女が参加したいと思う人口減少時代のお互い様の除雪システムの確立を目指します！

三瀬地区自治会 石塚さん



＜岩手県滝沢市＞

●自治会住民総参加による地域除雪「上の山まごころ除雪隊」 (滝沢市上の山自治会)

現在、除排雪ホイローダーを運転する有資格者を募集中です。自治会の“結い”やコミュニティづくりの重要な協働事業と位置付け、一同熱くなって取組みをはじめています。是非成功させたい！

上の山自治会 高橋さん



＜福島県会津坂下町＞

●スノーパトロール！地域の力で子ども達の道を拓け (会津坂下町ボランティアセンター)

実践中、雪が少なくても騒ぐことなく、常に課題と向き合いながら進めていきたいです。『気温は低いけど人はあったかいよ』ってことを除雪ボランティア活動を通して町内外にお知らせできたらいいな～と思います。

会津坂下町ボランティアセンター
山ノ内さん



＜群馬県片品村＞

●スノーマスターズの組織強化事業 (片品村社会福祉協議会)

片品村は関東随一の豪雪地帯で、スノーマスターズ(除雪ボランティア)を組織して、地域内の高齢者世帯の見守りや除雪支援等を共助で行っています。この事業をきっかけに組織強化を図ると共に、他地域との協働による除雪支援体制づくりを考えています。

片品村社会福祉協議会 千明さん



第14回 尾花沢雪対策シンポジウム ～安全で快適な冬の暮らしを求めて～



日 時 平成26年11月19日(水)
13:30～16:00
会 場 悠美館ハイビジョンホール
参加費 無料

主 催 尾花沢市民雪研究会
共 催 山形県庁山形支庁、尾花沢市、今どきたかきらい推進協議会、尾花沢市社会福祉協議会

【プログラム】		
13:30～	開会挨拶	尾花沢市民雪研究会 会長
13:50～14:30	基調講演	「すいじとこがき」雪の町での『雪害七』挑戦 山形大学 名誉教授 柴山 孝典 氏
14:45～15:15	技術紹介	自由エネルギー・エネルギー・エネルギー・エネルギー 日本地下氷凍害株式会社 技術本部設計課 今田 聡彦 氏
15:15～15:45	自由発表	住宅環境の改善について 尾花沢市民雪研究会 会長 加藤 昇一 氏
15:45～16:00	閉会挨拶	尾花沢市民雪研究会 会長 加藤 昇一 氏

問合せ先 尾花沢市民雪研究会 事務局
尾花沢市環境整備課雪対策・新エネルギー推進室 電話:0237-22-1111(内線266)



広げよう「助け合い除雪！」 サポート情報

来る11月19日(水)、「克雪調査」にも採択された「助け合い除雪」先進地、山形県尾花沢市において「尾花沢雪対策シンポジウム」が開催されます。

★問い合わせ先 尾花沢市民雪研究会 事務局
(尾花沢市環境整備課雪対策・新エネルギー推進室) 電話:0237-22-1111(内線266)

